



## 2022年度 平和学習会

主催：グリーンコープ共同体組織委員会  
2022年7月6日 オンライン開催 239人参加

# 中村哲医師と平和

## 意志をつぐペシャワール会とPMSの今



水路建設により蘇った緑の大地

グリーンコープ共同体組織委員会では、グリーンコープの「平和」についての考え方を学び、組合員一人ひとりが視野を広げ深く考えていけるように、毎年平和学習会を開催しています。

2022年度の学習会では、ペシャワール会会長の村上優さんを講師に迎え、アフガニスタンの復興に生涯をかけた中村哲さんの思いや活動、その思いを引き継いだペシャワール会とPMSの今の活動について話を聞きました。また、中村さんの活動をドキュメンタリーにしたDVD「医師中村哲の仕事・働くということ」を視聴しました。講演とDVDの内容をまとめて紹介します。



講師 村上 優さん

中村哲医師の後を継ぎ、2019年よりPMS総院長に就任、ペシャワール会会長を兼任する。中村医師との公私にわたる交友は46年におよび、ペシャワール会発足当初から一貫して活動を支えている。

## ペシャワール会

中村哲医師のバキスタン、アフガニスタンでの医療活動を支援する目的で結成された国際NGO(NPO)団体。

PMS(平和医療団・日本)病気の背景には食糧不足と栄養失調があることから、荒廃した農地の回復のため灌漑事業に重きを置いて活動している。



中村 哲さん

1984年よりバキスタンのペシャワールに医師として赴任し、診療活動に従事。以来バキスタンやアフガニスタンで病气、干ばつ、戦闘や貧困に苦しむ現地の人びとに寄り添った支援を続けた。2019年、アフガニスタンで凶弾に倒れる。

### 人が行きたがらない したがないことをする

日本で精神科・神経内科医として働いていた中村医師は、1978年、登山隊に同行する医師として訪れたバキスタンで、診療を受けることができない多くの村人と出会いました。1984年にバキスタン・ペシャワールの病院に赴任した時はハンセン病撲滅計画への参加でしたが、隣国アフガニスタンへのソ連軍侵攻によって押し寄せた難民の医療にも携わらずを得ませんでした。

1989年のソ連軍撤退後、難民が帰還することを見込んで、アフガニスタン東部の農村・山岳地帯への巡回診療を行いました。これらの地域はハンセン病だけでなく多くの感染症が多発し、貧しく、そして無医地区でした。そこで診療所建設を計画し、1991年、難民帰還が始まると同時にダラエ・ヌール診療所を開設しました。伝統を重んじるアフガニスタンの地では診療所をつくる時も自分たちのルールを相手に押し付けるのでは

なく、現地の人たちの生活に寄り添うよう努めました。

こうしてハンセン病患者やアフガン難民、貧困層の診療のために、1998年までにペシャワールにPMS基地病院と、バキスタン西部・アフガニスタン東部の山岳無医地区に6か所の診療所を開設しました。

### 家族と生きていくことが 平和の原点

2000年の夏、アフガニスタンは歴史的な大干ばつに見舞われました。村の井戸は枯れ、たくさんの子どもが犠牲になりました。村の人びとは仕事を求めて都市へと逃れ、日銭を稼ぐために傭兵となる者も少なくありませんでした。同じ村の人が戦場に向かっていくこともありましたが、お互いに撃ち合うことはせず家に帰ると一緒に食事をしました。「彼らの願いはただ二つ、三度三度のご飯が食べられること、家族と一緒に故郷で暮らせること、それだけだ」と中村医師は言っています。生きて家族と共に生活できることが、平和の原点なのです。

### 水路を建設し きれいな水を取り戻す

2001年にアメリカ同時多発テロ事件が発生。首謀者をかくまっているとして、アメリカを中心とする連合軍はアフガニスタンへの空爆を開始します。干ばつによる食糧難であえぐ人々に落とさ



中村医師は「私たちの役目は、復活した村の人びとと喜びを共にできることである」という言葉を残しています

れたのは、食糧ではなく爆弾でした。栄養失調と感染症の拡大によって多くの命が奪われていきました。

人びとの命を守り、故郷での暮らしを取り戻すにはどうしたらいいのか。「きれいな水が近くにあり、栄養失調が改善されれば、8割の病気はなくなる。医者をして100人連れてくるより水路を一本つくれた方がよい」と考えた中村医師は、「緑の大地計画」を立案し農業用水路の建設に着手しました。

2003年、重機などがほとんどない中、農業用水路の建設工事が始まりました。周辺の農民に工事への参加を呼びかけると、田畑が蘇ることへ望みをかけた農民たちが、武器をシャベルとつるはしに持ちかえて集まりました。働いた人々には日当が支給され、干ばつで農作業ができない彼らの家族の生活を支援しました。用水路事業は中村医師が自ら陣頭指揮をとり、すすめられました。想像をはるかに超える激しい水流の中での工事は困難を極めました。

着工から7年、全長約25kmのマルワリード用水路が完成し、春には用水路周辺に緑の小麦畑が広がるようになりました。故郷を

追われたアフガニスタンの人びとが願っていた、故郷で家族と共に暮らす穏やかな日々が戻ってきました。

### 現在のアフガニスタン

中村医師は「ここでの活動はさきやかであって、この灯りを絶やしてはならない」と言っています。2019年に中村医師は亡くなりましたが、私たちは「彼の事業をすべて継続し、その希望をすべて引き継ぐ」ということを合言葉に活動を続けています。

現在のアフガニスタンの最大の問題は、干ばつによる飢餓です。用水路が完成した所は緑が回復しましたが、それ以外の地域では現在も干ばつがひどく、砂漠化がすすんでいます。アフガニスタンは人口当たりのCO<sub>2</sub>排出量がとても少ないと言われていますが、地球温暖化の影響が最も現れている地域です。昨年秋季の時点で人口の約半分が

飢餓に直面しています。平和とは理念ではなく現実の力だ

中村医師が活動が続けた35年の間、ソ連による侵攻や内戦など、ずっと傍で戦争が起きていました。「暴に対して暴を以て報いるのは我々のやり方ではない」という彼の考えは一貫しており、どんな困難があっても困っていることに忍耐をもって建設的な人道支援をするべきであると言いつけていました。

皆さんには「平和とは理念ではなく現実の力なのだ。私たちは、いとも安易に戦争と平和を語りすぎる。武力行使によって守られるものとは何か、そして本当に守るべきものとは何か、静かに思いをいたすべきかと思われ。 (中村哲著『天、共に在り』より)」という彼が遺した言葉を心に留めて、今の時代を考えていただきたいと思います。



No.169

### 自然エネルギーでつくる豊かな社会

2011年3月に東日本を襲った大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故で、原発のリスクがこれまでにない形で明らかとなり、電力見直しの必要性をより強めることになりました。

自然エネルギーの電力への活用は、2015年に合意されたパリ協定に基づく気候変動対策の一つとして、国際的な取り組みがすすんでいます。

みどりの地球をみどりのままに未来へつなげるために、わたしがこれから選ぶべきエネルギーは、持続可能で、地球温暖化防止にもなり、原発のような放射性物質のリスクもない自然エネルギーではないでしょうか。家族の健康を考えて食べものを選ぶように、電力も安心して子どもたちに渡せるものでなければなりません。

気候変動を防ぎ、持続可能な豊かな社会を築くために、原発に頼らず、自然エネルギーで発電をしているグリーンコープでんきを選択しましょう。

グリーンコープ共同体組織委員会



グリーンコープ・グリーン電力出資金  
11,079人 1,094,185,000円 (2022年7月26日現在)

「原発の電気ではなく、自然エネルギーでつくった電気をしたい!」という願いをかなえるために、グリーンコープ・グリーン電力出資金に協力しましょう

### 2022年6月の売電量

|                                                     |
|-----------------------------------------------------|
| 神在太陽光発電所売電量<br>134,550kWh<br>定格出力1,057kW(309世帯相当)   |
| 平池水上太陽光発電所売電量<br>135,573kWh<br>定格出力1,260kW(368世帯相当) |
| 深年太陽光発電所売電量<br>164,382kWh<br>定格出力1,550kW(453世帯相当)   |

|                                                                  |
|------------------------------------------------------------------|
| グリーン未来ソーラー売電量<br>44,000kWh<br>定格出力376kW(110世帯相当)                 |
| 若宮物流センター太陽光発電所売電量<br>5,779kWh<br>定格出力47kW(14世帯相当)                |
| 広島物流センター太陽光発電所売電量<br>5,249kWh<br>定格出力47kW(14世帯相当)                |
| グリーンコープやまぐち生協<br>西部地域本部太陽光発電所売電量<br>5,931kWh<br>定格出力54kW(16世帯相当) |